

教職員定期健康診断をご受診頂いた方へ

今年度の定期健康診断結果についてご確認いただけましたでしょうか。

結果通知内の機能別判定欄等をご確認下さい。要再検査、要精密検査または要医療と判定された方は、医療機関で受診いただき結果をお知らせください。

健診結果は本学産業医も確認します。所見があった方の中で、特に医師による結果説明や面接が必要と判断された方、栄養相談や保健師相談が必要な方には、後日、個別にご連絡を差し上げます。

健康管理のために、今後も年1回の健康診断を必ず受診してください。

結果通知書は、ご自身の健康管理にお役立て頂くために保管いただくようお願いいたします。

【判定についてのご説明】

要治療継続

健康診断の結果を主治医へお伝えください。

セカンドオピニオンとして、本学校医や産業医に相談していただくことも可能です。

要医師相談 要精密検査 要医療 要再検査

医療機関を受診し、受診結果を健康支援センターへ報告してください。
特に、医師相談・保健師面談が必要と判断された方や、健康支援センターでの二次検査が必要な方には、後日、個別にご案内いたします。

* 医療機関受診の際は「健康診断結果通知書」を MIRAI+より出力して持参してください。

健診結果についての説明や紹介状作成を希望される場合には、健康支援センターへご連絡ください。

要経過観察 ／軽度異常

生活習慣を改善し重症化を予防しましょう。

ぜひ、保健師相談・栄養相談をご活用ください。

* 校医や産業医など医師への相談、栄養相談、保健師相談等をご希望の場合には、健康支援センターへご連絡ください。連絡先などは、「健康支援センターご利用案内」をご参照ください。

※健康診断に関するお問い合わせ、各種相談のご予約は以下のメールアドレスをお願いいたします。

＜教職員健診担当メールアドレス＞kenshin@mguad.meijigakuin.ac.jp

【検査結果の見方について】

・血液検査

検査項目	説 明
白血球	白血球は、変動しやすい検査項目です。急性炎症（風邪や肺炎など）や喫煙、運動後に増加が見られることがあります。薬物投与や血液疾患などで減少します。
血小板	血小板は、血液凝固にかかわる物質です。血小板が少ない場合は、血小板を作る機能が落ちている可能性があり、出血が止まりにくくなります。
赤血球 血色素量（ヘモグロビン）	血色素は、赤血球内に存在し体に酸素を運びます。 減少すると貧血になります。
ヘマトクリット値	血液中に占める赤血球容積の割合を言います。 減少した状態を貧血、増加した状態を多血症、赤血球増多症と言います。
MCV （平均赤血球容積）	赤血球 1 個の平均的容積、すなわち赤血球の大きさの指標となるもので、赤血球数とヘマトクリット値から算出したものです。
MCH （平均赤血球色素量）	赤血球 1 個に含まれる血色素量を平均的に表わしたもので、赤血球と血色素量から算出したものです。
MCHC （平均血色素濃度）	赤血球の一定容積に対する血色素量の比率を表わしたもので、血色素量とヘマトクリット値から算出したものです。
血清鉄	血清鉄は、鉄欠乏性貧血の時に低くなります。
GOT（AST） GPT（ALT） γGTP	GOT・GPT は、肝細胞の中にある酵素で肝臓が障害されて肝細胞が壊れると血液中に洩れ出て高くなります。γGTP は、アルコールの影響を受けやすいので、飲酒による肝障害発見の手がかりとなります。
HDL-ch	HDL- ch は、善玉コレステロールと言われています。 これが低下すると動脈硬化を促進します。禁煙や運動で上昇してきます。
中性脂肪	血液中の脂肪の一種で、肥満、アルコール多飲、糖分の取りすぎで高くなります。
LDL-ch	LDL- ch は、悪玉コレステロールと言われています。この値が高いと動脈硬化とそれに伴う虚血性心疾患（心筋梗塞や狭心症など）などに、充分注意する必要があります。
尿 酸	上昇すると痛風や腎機能障害がおきやすくなります。 肥満、アルコール多飲、運動不足で高値になります。
クレアチニン	血清クレアチニンは、筋肉で産生され尿中に排泄されます。 筋肉量の多い人、腎臓の働きの悪い人は、高めになります。
eGFR	腎臓にどれくらい老廃物を尿へ排泄する能力があるかどうかを示しており、この値が低いほど、腎臓の働きの悪いということになります。
血 糖	血液中に含まれるブドウ糖値です。血糖値は食事を摂ると上昇するため空腹で検査することが原則です。空腹時血糖の上昇により糖尿病発症のリスクは高まります。
HbA1c （ヘモグロビンエーワンシー）	糖と結合したヘモグロビンの割合のことです。1～2 ヶ月間の血糖値の平均を反映しているため糖尿病の診断、治療に用いられます。
PSA （前立腺特異抗原）	前立腺がんのきわめて有用な腫瘍マーカーで、上昇するにつれ前立腺がんの発見率も高くなります。

・抗体検査（風疹、流行性耳下腺炎、麻疹）

下表にて、ご自身の抗体価の状態を確認してください。

「抗体なし」または「発症予防に十分な抗体価なし」であった場合には、ワクチンの接種をお勧めします。

それぞれ単体のワクチンの他、麻疹と風疹の混合ワクチン（MR ワクチン）があります。

予防接種を受ける場合は、医療機関にワクチン接種が可能か問い合わせをした上で受診してください。

予防接種を受けた場合は、接種記録を母子手帳などに記載してもらうか、接種証明を発行してもらい、大切に保管してください。接種後はその旨健康支援センターまでお知らせ下さい。

「発症予防に十分な抗体価あり」の場合、現時点で予防接種の必要はありません。

	抗体なし	発症予防に 十分な抗体価なし	発症予防に 十分な抗体価あり
風疹ウイルス IgG（三日はしか）	2.0 未満	2.0 以上 4.0 未満	4.0 以上
ムンプスウイルス IgG （流行性耳下腺炎、おたふくかぜ）	2.0 未満	2.0 以上 4.0 未満	4.0 以上
麻疹ウイルス IgG（はしか）	2.0 未満	2.0 以上 6.0 未満	6.0 以上

酵素免疫（enzyme immunoassay ; EIA）法 / 単位: EIA 価 [抗体指数]

・HBs 抗原検査、HCV 抗体検査

これらの検査は、それぞれ B 型肝炎ウイルス（HBV）、C 型肝炎ウイルス（HCV）の感染の有無を調べる検査です。HBV・HCV は、どちらも血液など体液を介して感染します。母子感染、性交渉、輸血、刺青、不衛生な医療器具などが原因となりますが、原因不明の場合もあります。

感染すると急性肝炎～慢性肝炎を起こし、一部は肝硬変や肝臓がんに移行することもあります。陽性と判定された場合には、症状がなくても必ず肝臓専門外来を受診して、治療を含めて対処を検討する必要があります。

・眼底検査（眼底カメラ撮影）

眼底検査は眼球内部の後面である眼底をカメラで撮影する検査です。眼底には光を感じる網膜や情報を脳に送る視神経、栄養を与える血管などがあります。とくに網膜の中心部は黄斑と呼ばれ、視野の中央に対応して最も重要な部分です。

眼底の血管は、人の体で唯一直接見ることができる場所であり、高血圧などに伴う動脈硬化性変化を観察できるほか、糖尿病合併症の一つである網膜症の診断、緑内障、網膜色素変性症、黄斑変性症、白内障など眼の病気の発見に繋がります。

日本人の失明の原因として緑内障が最も多く、次いで糖尿病網膜症、網膜色素変性症、加齢黄斑変性症などがありますが、いずれも初期は自覚症状に乏しい病気です。眼底検査で要精密検査となったときには、とくに自覚症状がなくても、放置すると悪化したり、すでに治療が必要な場合もありますので、早めに医療機関を受診してください。

健康支援センターご利用案内

■ 定期健康診断

1年に1日、自分のからだをゆっくり見直す時間を作ってみませんか？
病気の早期発見はもちろん、早期治療・予防につながる大切な健康チェックの機会です。

近年、未だ全国各地の学校や病院で結核の集団発生が報告されています。
教職員の方々が感染源となり集団発生につながる可能性がありますので、健康診断は必ず受診してください。
大学以外で定期的に健康診断を受けていらっしゃる方は、その結果を健康支援センターまでお持ちください。

■ 健康相談（医師・保健師・管理栄養士）

医療機関のご紹介や紹介状の作成も可能です。
病院に受診されている方も、セカンドオピニオンとしてご利用いただけます。
校医、産業医への相談は予約制です。相談日・時間については健康支援センターへお問合せください。

その他下記のご相談も受け付けています：

- ・医師相談（内科、呼吸器科、婦人科、産業医）、禁煙サポート、栄養相談（管理栄養士）の日程は、各校地の健康支援センターへおたずねください。
- ・保健師相談は随時対応いたしますが、事前にご連絡をいただけると、ゆっくりと時間をお取りできます。

■ 応急処置

急なケガや体調不良に対応いたします。体調のすぐれない時は休養も可能です。お気軽にご相談ください。

■ セルフチェック

自動血圧計・体重計・体脂肪計を設置しており、セルフチェックにお使いいただけます。
健康に関するリーフレットも各種ご用意しております。

■ 情報管理について

利用者の方に安心・安全な保健サービスをご提供するとともに、個人情報の取扱いにも万全の体制で取り組んでいます。
健康診断や健康相談で得た個人情報は、明治学院健康情報取扱い規定に基づき適切に管理いたします。

白金健康支援センター

開室時間：平日 9:00～11:30/12:30～18:30

土曜 9:00～11:30

※11:30～12:30 も応急処置は対応

場所： 白金校舎 本館 1階北ウイング

TEL： 03-5421-5184

横浜健康支援センター

開室時間：平日 9:00～11:30/12:30～18:30

※11:30～12:30 も応急処置は対応

土曜 9:00～12:00

場所： 横浜校舎 B館

TEL： 045-863-2021

AED 設置場所、ご存じですか～いざという時のために

バリアフリーマップ

<白金キャンパス>

<横浜キャンパス>

より



AED
(自動体外式除細動器)



YouTube の動画で AED を含む救命法を学ぶことができます。ぜひ一度ご覧ください。

※クリックするとリンク先を開きます。

[【日本赤十字社】一次救命処置（BLS）～心肺蘇生と AED～（字幕あり）](#)

[新型コロナウイルス感染症の流行期における一次救命処置のポイント【日本赤十字社埼玉県支部】](#)